

2022JR総連春闘！！

第1回交渉～収入動向～

収入動向

- ① 営業部門は、相次ぐ雪害等各種災害、北海道地区夏季かんばつに伴う作柄不良の影響を受け、全ての品目で計画を下回った。コンテナ・車扱合計で対90.7%となった。
- ② 事業開発部門では、マンション販売、土地貸付、賃貸マンションの満室稼働、外部物件購入による賃料収入拡大等を行ない、計画達成におけ順調に進行している。

組合から

- ① コロナ禍の落ち着きを予想するならば、収入は上向きになるということ。
- ② トラックドライバー規制とカーボンニュートラルの追い風もあり、長期的に見れば良いというのは理解する。

**ガolin価格の高騰はめざましい！！物価が高騰する
中賃金が上がらないことは実質賃金の減額だ！！
来年度の事業計画に「ベースアップ」は必須である！！**

回答指定日 3月18日(木)